

寺報

No.623

令和元年7月

蓮華寺
發行

御聖訓

一人の心なれども二つの心あれば
 其の心たがいて成ずる事なし、
 百人、千人なれども一つ心なれば
 必ず一事を成ず。

『異体同心事』



(解説)

わが国に仏教を取り入れ、その中でも特に「法華經」を重んじました聖徳太子は、『和を以て貴しとなす』で始まる「十七条の憲法」を制定しました。ここでいう「和」とは、国の平和、世界の平和、人々の幸福の和、我々が仏様に生かされているという命の和の事をいいます。

特に、命の和は命のつながり、この世の全ての生き物に共通する和といえるのです。

しかし、その生き物の中で「和」が一番保たれていないのは、我々人間なのかもしれません。

最近、みんなが自己中心になり過ぎて、相手を思いやる気持ちが欠けてきています。

ですから、悲惨な事件や事故が頻発して起きているのです。

今年も年号も変わり『令和』となりました。

まさに「和」を以て良い年にしていかなければなりません。

その為には、各自が法華經・お題目の信仰でまず各家庭の「和」を保っていきましょう。

鬼子母神大祭

七月六日(土)

午後六時半より

法話・靈断師会連合会青森県会長
つがる市道円寺住職

飛鳥 玄龍 上人

*『鬼子母神』様は「家内安全」「身体健全」「子孫繁栄」「安産成就」等を叶えます善神です。

*小さなお子さん、お孫さんをお持ちの方、また出産予定の方は必ずご祈願、ご参拝下さい。

②ご祈祷がありますので、どうか法要の開始時間に合せてご参拝下さい。

また、法要終了後の「法話」も必ずご聴聞下さい。

鬼子母神



お知らせ

【一般御祈願】・・・千円(読み上げ・お札)

皆様の「家内安全・身体健全等」、また子供さんお孫さんの「発育増進・安産成就等」の御祈願、読み上げをします。

【特別御祈願】・・・二千円(読み上げ・木札)

御祈願の仕方は一般と同じですが、長さ一尺(約三十センチ)の木のお札が付きます。

【一般御法楽】・・・千円(読み上げ・お札)

皆様のお名前を読み上げまして「鬼子母神様」をご法楽(法華経を以て神仏に楽しんで戴き、また自らも徳を積むという意味)します。

【特別御法楽】・・・二千円(読み上げ・お札)

各家庭にお祈りしています「鬼子母神様」の御尊像と掛け軸を、大本堂の御寶前にお祈りし、僧侶全員にて読経・ご祈祷し、お名前も読み上げします。

どうぞご持参下さいますように、お願い致します。尚、当日お参りの出来ない方は、前以てお寺にお預かり下さい。

鬼子母神様

皆さんは既にご存知かと思われませんが、当山には三体の鬼子母神様のご尊像があります。

いわゆる鬼形といわれる恐いお顔をした鬼子母神様が、大本堂と小本堂に一体ずつ、そして大本堂の宮殿(神仏を祀っている処)の中には、やさしく子供を抱き天女の形をした鬼子母神様が一体あります。

毎年、大祭の時は御寶前の前に祭壇を飾り、三体系にお祈りしていただきますので良くご覧になるとお分かりになると思います。

そもそも鬼子母神様は、古代インドのお話に出てきます羅刹女(鬼)で、名を訶利帝母といい、自分の子供だけを愛し、他人の子を殺して食べるという悪業を重ねていました。

しかし、その後お釈迦様の御教えに諭されて、自らの過ちに気づき、今までの罪を懺悔滅罪し、ついには総ての子供達を守護しようと改心したのです。

このお誓いに基づき、安産と子育ての守護神として信仰されるようになりましたのが、「天女」のお姿をした鬼子母神様であります。

また、法華経の行者に危害を加えようとする者を威圧し、恐れさせ、我々を守護してくれるようにと【鬼】のお顔をした鬼子母神様もその後祀られるようになりました。



鬼子母神

そして法華経の第二十六章陀羅尼品には、鬼子母神様は十人の羅刹女と共に、法華経の行者を守護するといふ誓いを立てたと説かれている処から、日蓮宗では鬼子母神信仰が広く行われてきました。

日蓮大聖人も、鬼子母神様と十羅刹女を法華経の守護神として大曼荼羅御本尊に勧請され、鬼子母神様は十羅刹女の母であると説かれています。

この教えの元、我々日蓮宗を信仰する者は鬼子母神様を大切にお祈りしていかなければなりません。

特に今年出産予定の方、小さなお子さんをお持ちの方また、檀信徒の皆様も自らがお寺に足を運び、お題目を唱える事で鬼子母神様のお力を戴こうではありませんか。

檀信徒研修会のお知らせ

七月二十日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)』と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂【イス席】

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、皆様もこの機会を逃さず、

お経とお題目を大きな声を出して唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、また先祖供養の為、と各自の目標に向い修行して下さい。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、任職上人が

各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞

【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致しますが、維持費は増額となります。

詳細は事務所まで!

蓮華寺大本堂

『須弥壇』

『鬼子母神・妙見菩薩御厨子』

『大黒天御厨子』

修復浄財勧募のお願い

明年、令和二年六月二十一日(日)宗祖日蓮大聖人の御生誕八百年記念の東北教区慶讃大法要が当山を会場に厳修されます。

当日は、日蓮宗の管長・池上本門寺貫首『菅野日彰』猥下を初めとして、東北の各上人をお迎えしましての盛大な法要となります。

そこで、その記念事業としまして、当山では大本堂の御寶前の前にあります『須弥壇』(前机)と両脇にお祀りしています『鬼子母神・妙見菩薩御厨子』と

『大黒天御厨子』の修復工事を行う事に致しました。

大本堂が完成したのが昭和二年(一九二七)ですのでその頃に収納されました『須弥壇』や『御厨子』も、はや九十二年の年月を経まして、かなり老朽化してきてましたので、今般これを機会に修復したいと思えます。

本来、品質の良い物ですので、当時の御寶前を再現する為にもあえて修復する事にしました。しかし仏具という物は、たとえ修復するにしてもかなりの高額となります。どうかその旨をご理解戴きまして、今般の修復へのご協力をよろしくお願い致します。なお、御浄財はご賛同戴けます檀信徒の皆様方へお願いしております。どうか、皆様のお力で『廣布山・蓮華寺』を守り続けていきましょ。

***勧募方法**

一、改修費用	三千一百万円
一、完成期間	令和二年五月
一、浄財	一口・一万円

(何口でも結構です)

(注)事務所にてお申込み下さい。お名前と共に供養・祈願をして戴き、永久的に奉納保存致します。現在解体も終わり、仮の祭壇を設けています。ご不便をおかけしますが、完成まで楽しみにしてお待ち下さい。

新たに蓮華寺の檀家を

希望する方へ！

新しく『廣布山蓮華寺』の檀家になりたいと希望する方は、特別の手続きなどはありませんので、入檀の誓約書を書いて戴き事務所までお申込み下さい。いつでも登録出来ます。

その際に献金はなく、当山を維持運営します護持会費（年六千円）のみを納めて戴きます。また他宗から改宗する場合も、同様ですのでご安心下さい。

日蓮宗に改宗する場合は、必ず戒名を変えて戴きますが、その際も無料で普通戒名を授けております。

しかし、それ以上にご希望がある場合は、お寺にご相談下さい。

ただし、ご本尊（大曼荼羅）・日蓮大聖人のご尊像・過去帳・仏具などの必需品は、各家で実費でそろえて戴きます。

現代は信教の自由が保障されていますので、ご自分の意志で信仰したい宗派を決める事が大事でしょう。

『お経本』【お経の解説付】

限定販売中

皆様の中にはお経は読めますが、その意味となるとなかなか分からないという方がいると思います。この本は開経偈（無上甚深）・方便品・自我偈・運想（唱え奉る妙法は）・寶塔偈（此経難持）などの簡単なお経の解説が分かりやすく書かれたお経本です。

限定販売ですので、どうかお早めにお求め下さい。

一冊・千二百円【事務所にて】

『靈神符』を持ちましょう！

最近では思いもよらない事故が多発したり、特に子供さん達が悲惨な事件に巻き込まれています。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」などという考えはお止めになりまして、どうか素直に毎月の靈神符（お守り）を肌身離さずお持ちになりますようお願い致します。



八月

お盆の棚経のお願い

毎年蓮華寺では、お盆の供養の為に棚経を八月の十四日より十六日まで『旧市内』、十七日より二十日まで、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家さんを回っております。

一週間で回れる軒数は、僧侶の人数の関係から限られてまいります。

特に最近では、市内の環境や道路事情により新市内の檀家が増え、十七日以降の棚経のご依頼が多くなつてきています。

しかし、十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行なう状況から、あまり多くの家庭は回れません。

そこで、当山では棚経を八月一日からでも回れるようにしております。

どうか、棚経をご希望の方は、お早目にお申込みの上、日時を決めて戴くようにお願い致します。なお、例年通りの日時にお伺いする方は、そのままです。どうかご協力をよろしくお願い致します。

お盆『墓経』の変更のお願い

例年、当山ではお盆の墓経を三内霊園で、十三日の【午前六時から午後四時まで】行っていました。が、諸般の事情により今年度からは【午前六時から午後三時まで】とさせて頂き戴きますので、ご了承下さい。どうかご協力をよろしくお願い致します。

『靈断』のおすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千円です】

『提灯』の急募！

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』（トロー）を募集致します。作成価格は八千円で、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

七月の行事

一 日(月) 『盛運祈願会』 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お守りを戴きましよう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・ 蓮華寺檀信徒は必ずお守りを持ちましよう。



六 日(土)

鬼子母神大祭 午後六時半より

十三日(土) 『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

- ・ お経 (如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み) 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み))
- ・ 日蓮大聖人様へのご報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経とお題目を唱えましよう。

二十日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

二十六日(金) 甲子きのえね【大黒様の日】 朝のお勤め中

☆奉仕のお知らせ

四 日(木) 『鬼子母神大祭』の準備 午前九時より

- ・ 教宣部男女
- * 大本堂の幕・祭壇・ちようちん・のぼり等の掲揚

六 日(土) 『鬼子母神大祭』のお手伝い 午後三時より

- ・ 教宣部男女

七 日(日) 『鬼子母神大祭』の後片付け 午前十時より

- ・ 教宣部男女

※ 『鬼子母神大祭』は行事ですので、準備、後片付け等が大変です。

※ 部員の方は必ず、また部員以外の方でも是非ともご奉仕をよろしくお願い致します。

- 奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春
- 教宣部長・杉淵昌三

☆『十三日のお勤め』

毎月午後一時より
に参拝しましう

◎十三日は、日蓮大聖人の大切な月ご命日の日です。